

活動名：FCグラート蹴り初め杯 U-12
日 程：平成31年1月13日（日）
会 場：悠久の里（フットサル会場）
参 加：L100クラス+6年生 11名
結 果：4位/7チーム

ご父兄の皆様、三連休の貴重な時間を割いて頂きまして有難うございました。
年明け始めの大会の報告を致します。

今大会は、試合時間が8分・一本制と短く1チームにすると出場する時間がない為に2チームに分けて参加しました。

2チームとも、選手達は必死に自分の持てる力（技術）を發揮しようとしてしましたが短い試合時間の中で中々自分達のプレーが出来ないまま試合終了になってしまいましたね。力を出せないまま終了になったのは、私の指導不足であり申し訳ないと思います。

でも、試合時間が短い中でも選手一人一人がゴールに向かって行くチャレンジが良かったです。

試合がない時間の過ごし方が良かったですね。みんな仲が良く改めて6年生の絆は素晴らしいと思いました。

大会も残り少なくなりますが、1試合1試合大事にして全力で頑張ってくださいです。

最後に、大会関係者の皆様ご招待を頂きまして有難うございました。
今後とも宜しくお願いします。

コーチ 大森

活動名：FCグラート蹴り初め杯 U-10

日程：平成31年1月13日（日）

会場：悠久の里（フットサル会場）

参加：E4・E3選抜

新年明けましておめでとうございます

今年もどうぞよろしくお願い致します

今回は、悠久の里 蹴り初め杯を帯同することが出来ましたのでこの大会をレポートしたいと思います

新年明けてすぐのこの大会

大会もフェスティバル的蹴り初めの和やかな雰囲気の中で開催されました

試合はフットサルコート1面を前後半無しの8分のオンタイム交代自由のユニホームチェックなども簡素化した本当に蹴り初めを意識した大会でした。

ただスケジュールはキッチリとプログラミングされ時間通りに消化されて行きました。

さて私は4年生対応とさせて頂き大会をコーチングさせて頂きました。

4年生は、幸いにも2チーム編成の枠を頂くことができました。

4年生のこの人数そこでチーム編成は、レベルではなくチカラ均等にして戦いました。

まだまだ伸び盛りのこの世代勝ち負けと言うチーム的結果には、まったくこだわらず喜多方で味わったあの気持ちをどれだけ前向きに捉えて戦えるか？

どれだけチャレンジ出来るか？と言うところにスポットをかなりあてて戦いました。

もちろんこの戦いは、選手全員のものによって選手全員が参加しての試合がありました。

結果的には、順位にも表れているのですが思うようには戦えない現実がありました。

まずは、私は喜多方帯同ではないので不透明な部分ではありますがやよりのロースターター。

ゲームの支配、把握、読み、すべてが後手でした。

これには、緊張感もあったことでしょう

しかも8分のオンタイム、それはそれと強い気持ちややりきることを徹底しないと表現しづらいプレー時間です。

やっと掴みかけてきたかなと言う時間で終わってしまった試合ばかりでした。

私的にも練習でのスキルフルなプレーや創造性豊かなプレーが出て来ないことに凄い違和感がありました。

練習が練習以下に消化されてしまっていると私自身に強い課題を突き付けられました。

少なくとも私と4年生の関係においてスキルフルでもなく、やりきる強さ、創造性がないなどの現実や表現はまったくと言っていいほどなかったと言える自分が居たのですが…。

お正月気分もあったことも事実です

か、と言って対戦相手チームは、スキルフルでもなく、取り立てて丁寧な試合運び、丁寧なプレーをしていた訳でもなく、しかしどのチームもある意味のパターンは表現していました。

少ない時間での戦いなどはやりきることを考えてもパターンが多い方が試合にはなるのでしょうか。

設楽コーチは言います

試合もっともっと神聖なもの、もっともっともっと真摯向き合ってこそその真剣勝負と。

不真面目だったか？と言うとそう言うことではありません

では、やはり、真摯には向き合っていないように思います

確かに遊びです。遊びだからこそこだわって真摯に向き合って欲しいのです。

戦ってる、チャレンジしてると実感して欲しいのです。

そうやって大人の階段を登って欲しいと思います。誤魔化しや適当、ただただそこに居てやった気になるような大人にはなって欲しくはありません。

選手何名かには、戦うこと、常に心と頭と身体をフルに使うこと、自分自身と向き合うこと、頑張りの意味、あきらめないこと、やりきること、おとことして、をお伝えすることが出来ました。

これは、スポーツ、サッカーだけではありません。

もちろん学校で、家族に、社会に出てから

そして生きる上でと思っています。

まだ4年生なのと思うかもう4年生と思うか？

私は数字的なものは意味をなさないと思います。

その年代その年代の優しさや頑張り、そして大切な失敗。

失敗があるからこそ成功、成長こそがチャレンジです。
チャレンジしてチャレンジして、そしてまたチャレンジして、そんな選手にな
って欲しいと思います

言えることは、選手1人1人は、今回の大会でそんな部分が印象に残ったので
は？と私自身が勝手に思っています。
そんな私の言葉を心で受け止め涙してくれている選手も居ることも事実です。

個としてのチャレンジを期待しています
その結果の練習での創造性、スキルフルです
そしてその先に初めて真剣勝負があるのです
保護者の皆様朝はやくから夕方薄暗い時間帯まで選手のためにお時間をさい
て頂き本当にありがとうございます。
今後ともクラブやチームにご協力とご理解をよろしくお願い致します。

今回2チームでのお誘い本当にありがとうございます。
素晴らしい勉強をさせて頂きました。
大会スタッフ関係各位に心から感謝申し上げます
ありがとうございました

コーチ 小松



